



毎
日
眠
ト
カ
カ
カ
る

陽
子
キ
タ
ト
♡

でがん
↓

↑
おに



なんだよ話って、
こんな空き教室知らなくて
迷ったんだけど



「ごめん山下さん！大事な話があって…」

だからその話を
言えっての！

「ご、ごめん！す…好きです！
ずっとかわいいと思ってて…」



はあ？こいつマジかよw
私彼氏いるんだけどw
つか、これからカラオケだしw



「え…彼氏…？」

いるにきまってんじゃない！
てか君っていつもぼっちの人だよね？



ウチらのグループでちよっと
ネタにされてんの知ってる？w
そんな奴と付き合うわけないじゃんw

「そんな…」



またネタ増えちゃったw
じゃあカラオケいくから！

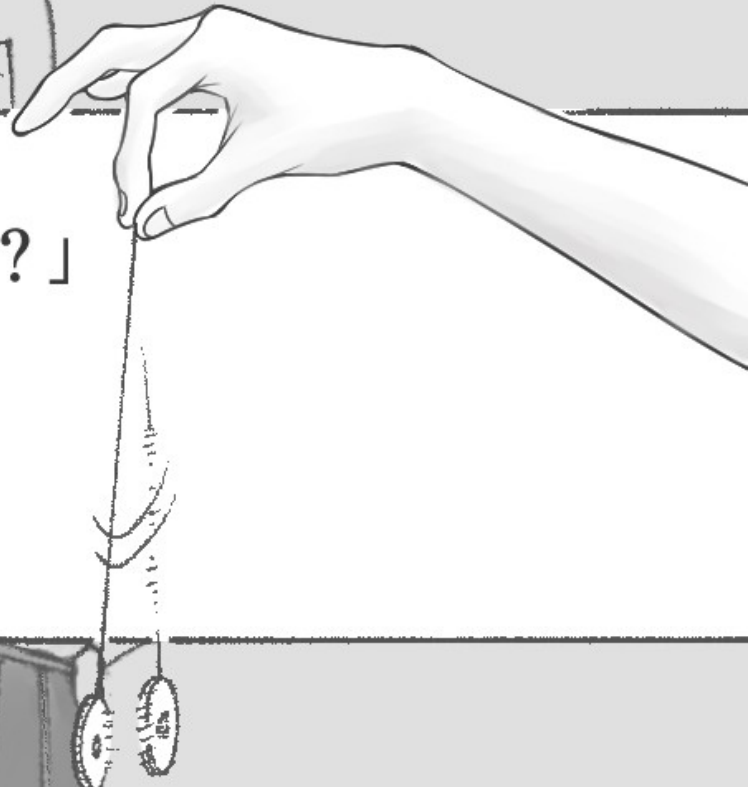
「くそっ……！勇氣出して告白したのに！」



「こうなったら……！めちゃくちゃにしてやる！」

「や、山下さん！ 待って…！」
「ちょっとこれ見てくれない？」

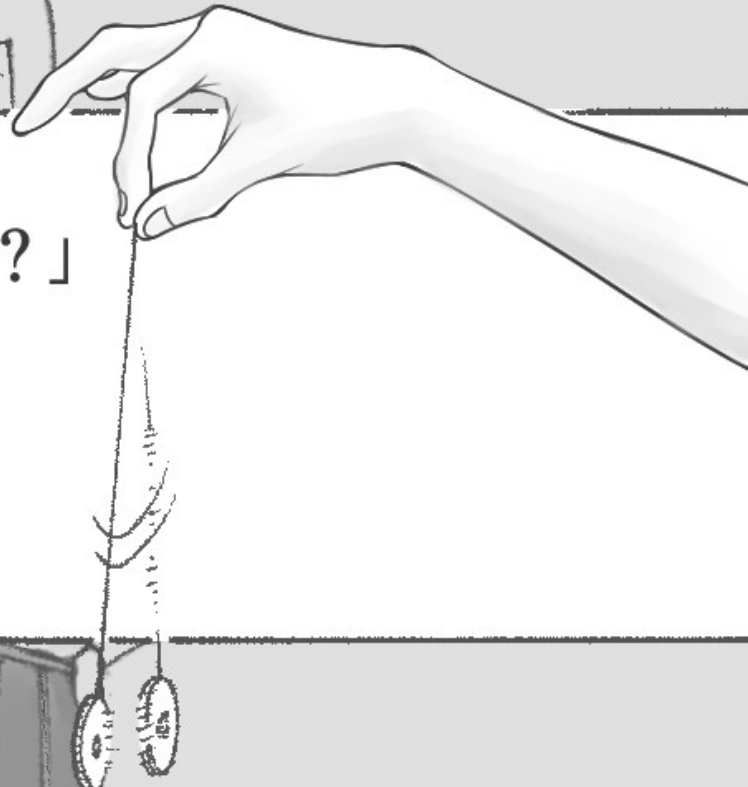


A hand from the right side of the frame holds a thin string. Two circular charms, possibly medallions or pendants, are attached to the string. The hand is positioned as if about to drop or show the charms to the girl below.

「や、山下さん！待って…！」
「ちょっとこれ見てくれない？」

A girl with long, straight hair is shown from the waist up. She is looking upwards with a curious expression. She is wearing a light-colored, button-up shirt and dark socks with shoes. The background is a simple grey wall with a horizontal line.

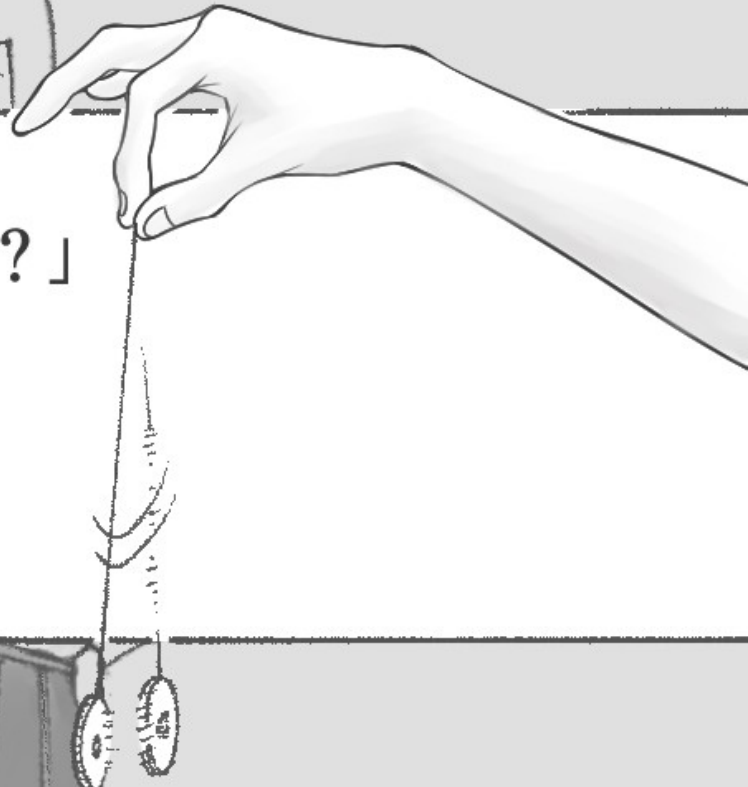
「はあ？まだ何かあんの？」
「カラオケ行く
って言ってるじゃん！」

A hand from the right side of the frame holds a thin string. Two circular charms are attached to the string, hanging down. The charms have some markings on them, but they are not clearly legible.

「や、山下さん！待って…！」
「ちょっとこれ見てくれない？」

A girl with long, straight hair is shown from the waist up. She is looking up towards the hand holding the string. She has a slightly blushing or nervous expression on her face. She is wearing a light-colored, button-up shirt and dark socks with shoes.

「早く行かないと…
だ…め…」

A hand from the right side of the frame holds a thin string. Two circular charms are attached to the string, hanging down. The charms have some markings on them, but they are not clearly legible.

「や、山下さん！待って…！」
「ちょっとこれ見てくれない？」



「や、山下さん！ 待って…！」
「ちょっとこれ見てくれない？」



「…」

「あ…エロめ…?」



…ん?

「…カラオケはいなくていいの？」



そんなの…どうでもいい…

「す…好きです、山下さん…！」



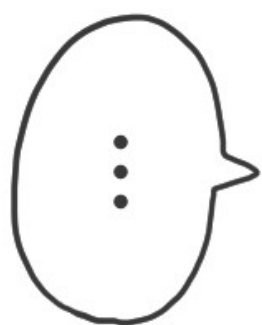
私も…好き…♡

「や…やった！かかった！かかった！」

「僕のものだ…山下さんは僕のものだ！」



「めちやくちやにしてやる…！めちやくちやに…！」



「お…おっぱい見ていい…?」

…うん



「うわっ…でっか…」



「ブ…ブラジャーもはずすよ！」



「うわぁ…これが
山下さんのおっぱい…」



「やば…山下さんのおっぱい
触ってるよ…!」

「ギャルの生乳やわらけえ!」

...



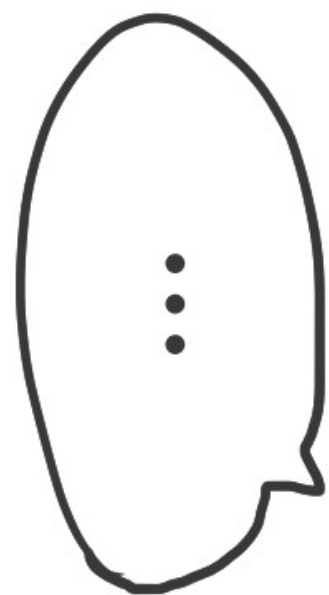
「や…山下さん…」

「は、挟んでもらっていい？」

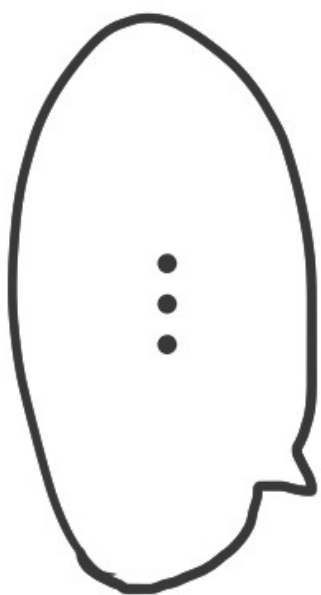
…うん



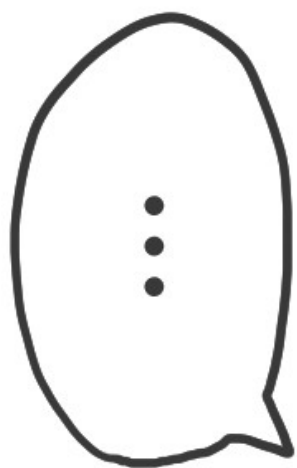
「山下さん…やわらかい…
やわらかいよ…」



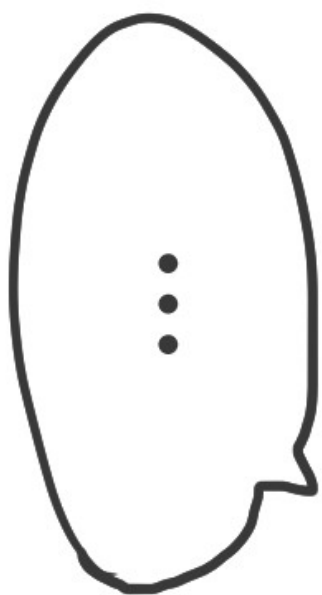
「うっ…出る…!」



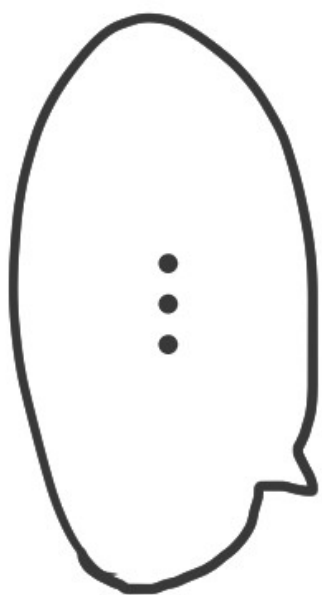
「ああっ……！」



「はあ…はあ…」



「き…気持ち良すぎるよ
山下さん…」



「あ…足の裏のにおい
嗅ぐよ…？」

「うわ…けっこう
湿ってるね…」



「す…すごい…
香りが漂ってきた…」

「ほかほかで…
あったかいよ
山下さん…!」



「くんくん…
ああ〜たまんねえよ！」

「ちんこの所に
持ってきて足コキだ！
足コキ！」



「あー…

出たよ…山下さん…」

「さ…最後に

おまんこ…

使うね！山下さん！」



「好きだ好きだ好きだ！」



「山下さん！世界一かわいいよ！」

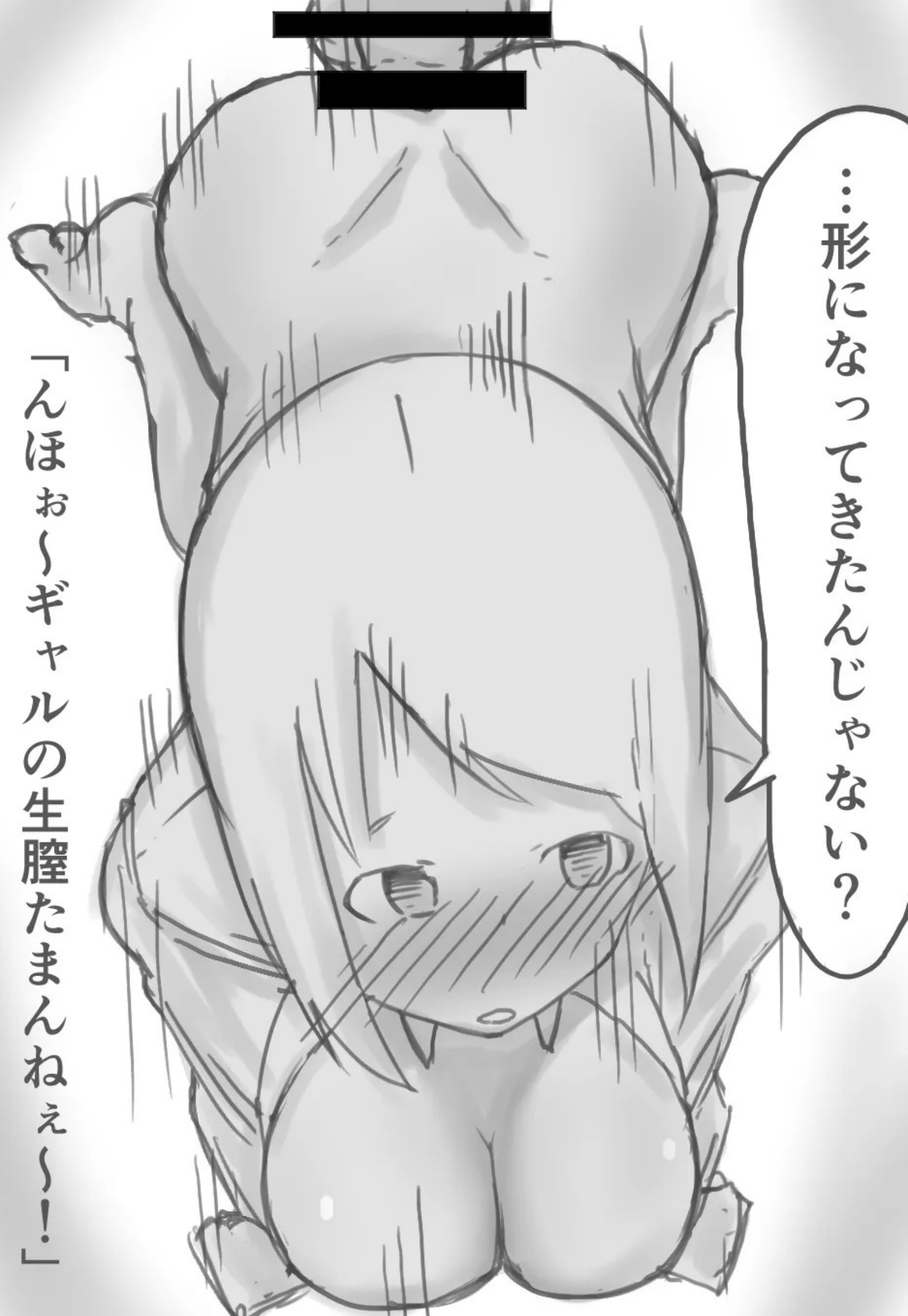
「ど、どう？ 僕のテク！」



「気持ちいいかな？ 山下さん！」

…形になってきたんじゃない？

「んほお〜ギャルの生膣たまんねえ〜！」



「え!? 山下さん!? 催眠は!？」

とっくに解けてるわよ…



意外と素質はあったから…

続けてたのよ…



彼氏とも最近うまくいってないし…

親も最近離婚しちゃった…



毎日楽しかった…なのにどうして…

これから私…どうすればいいの…？



「そうなんだ」

「じゃあ中出しするね」





中

陽

こ
し
て
俺
は

出

し

く

へ

の

を
堪
能
した

園

生白



ア、ア、ア、

ふかした
顔の影

早る顔差の

主人は陸軍、
ひまもきつ
のい

く、く、く、

い、い、い、

い、い、い、

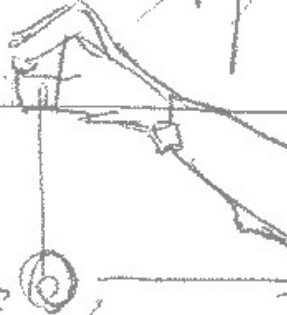
1-4

1-23

1-1



顔がトーン
い、い、い、



ニ、ニ、ニ、

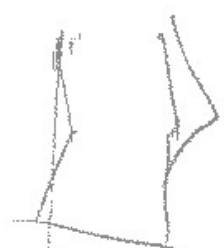
い、い、い、

1-6

1-5



顔が完全に
い、い、い、

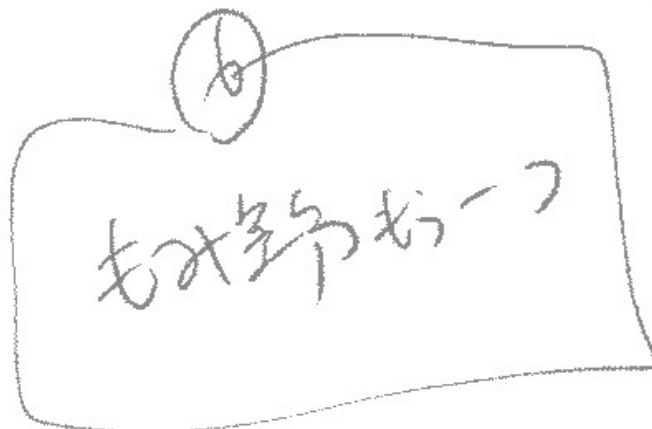
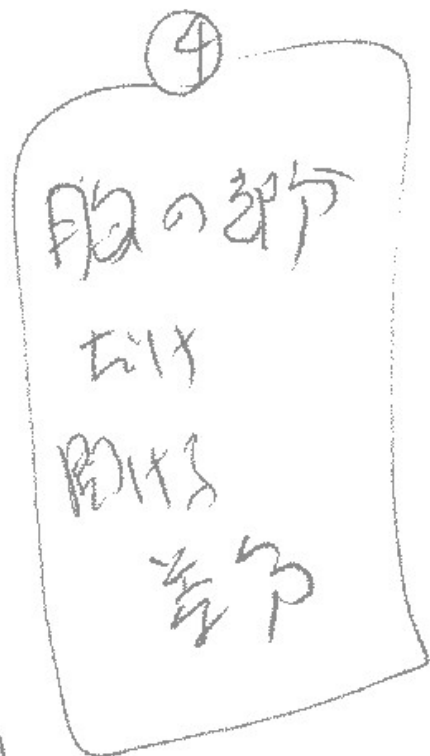
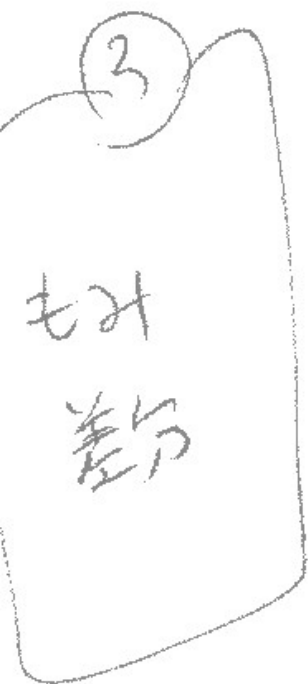


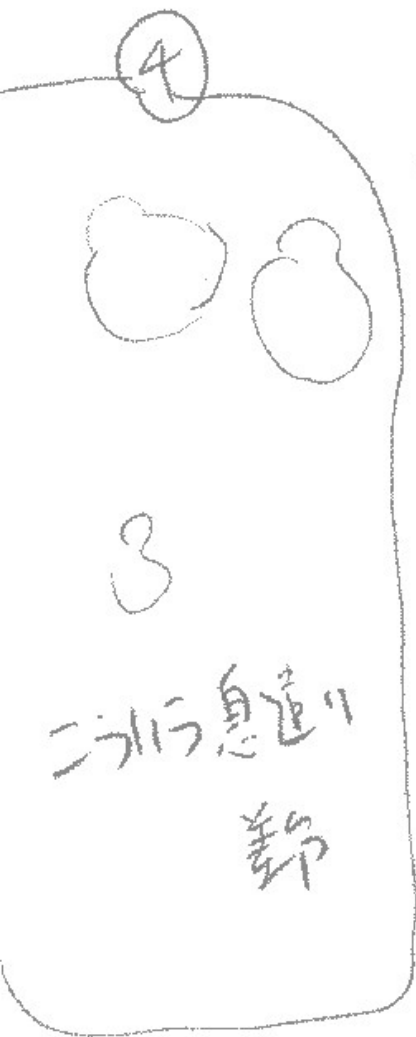
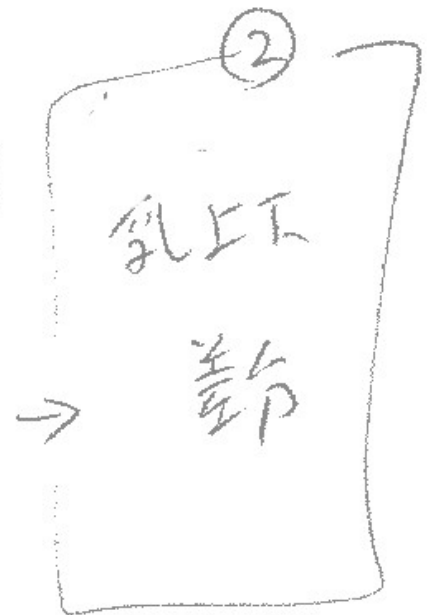
終

1-10

1-9

1-8





③

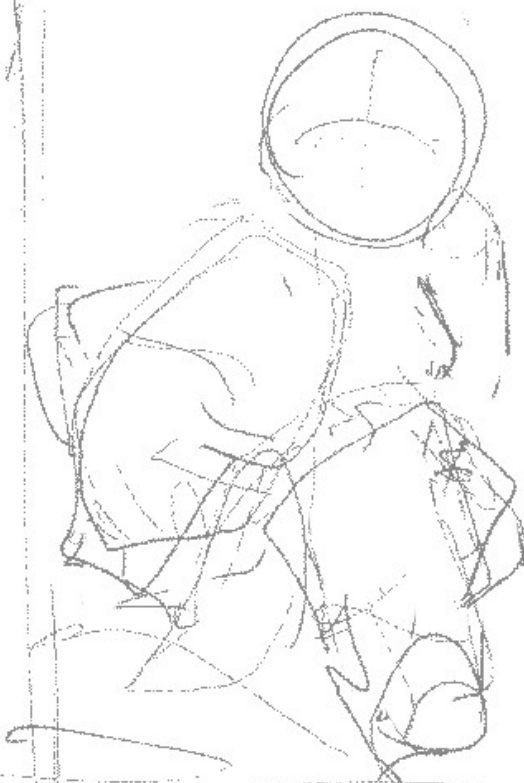
顔

アハビ

ヒラヒ

喉心室

①



②

ヒラ

ぬがろ

心

(ほかあ...)



④

足コキ

亀頭

心

⑤

アハカ

心

⑥

足コキ

親指と小指

でコキ

⑦

足コキ

足の裏

コキ

③
お洋服からし
エーにカー
着る



②
~~お~~
スポーツウェア
着る

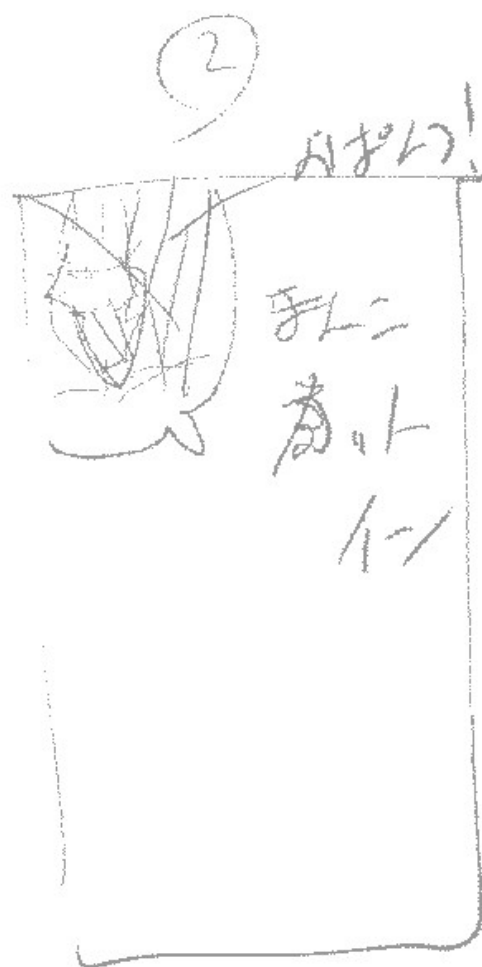
④
顔の着る

⑤
顔の着る

⑥
T-shirt
で実ほ
しにちい
着る

③
より赤面

④
受波地面
にたぬがし



2

DEFD

や、え、た、し、し、

۱۲۲۵



②

手包紙12

「おひい」

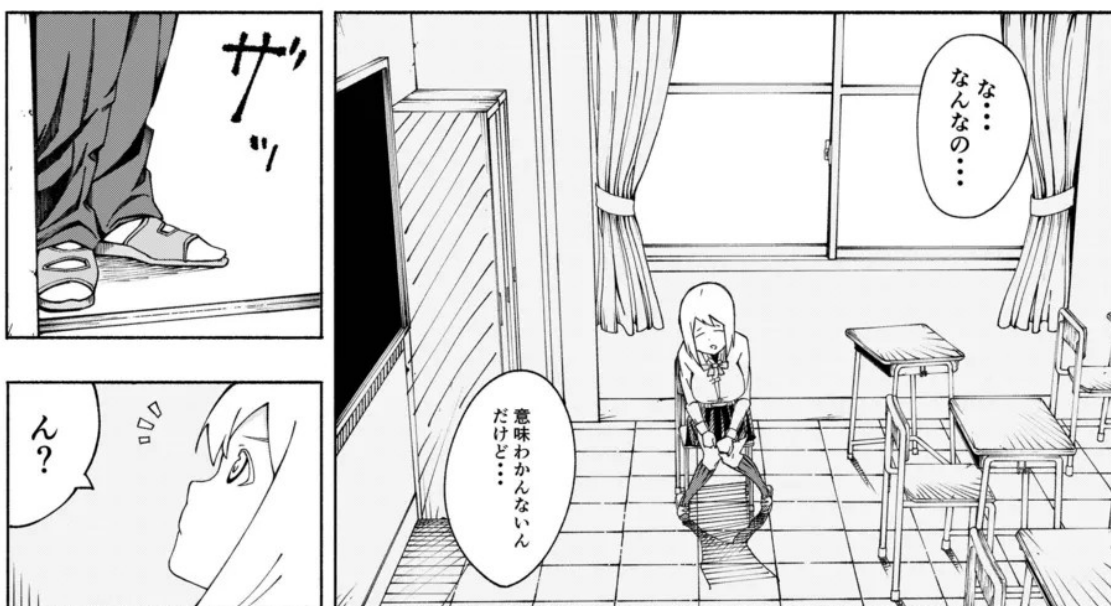
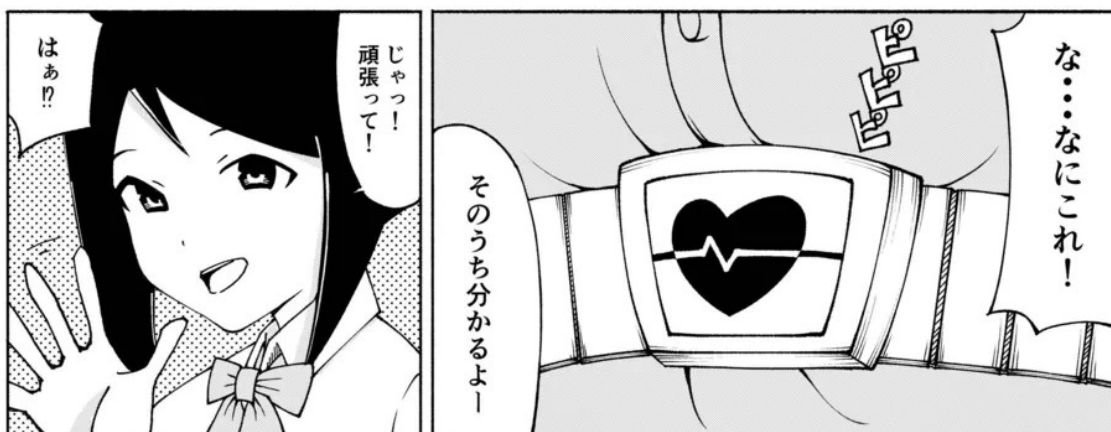
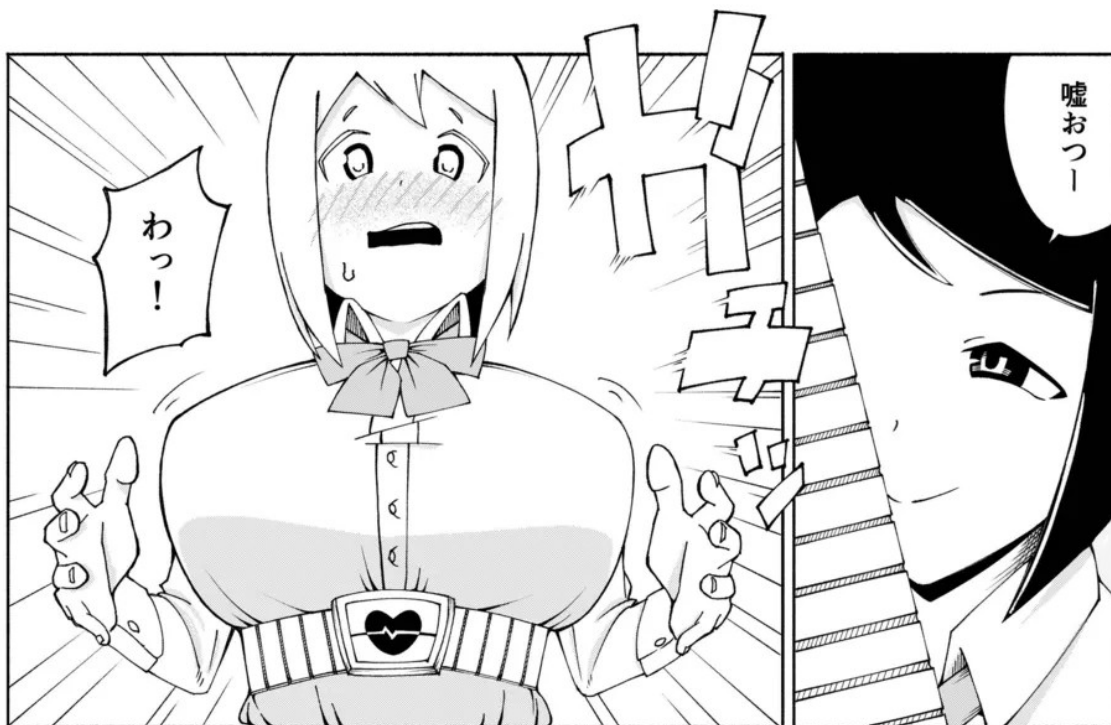
的 子

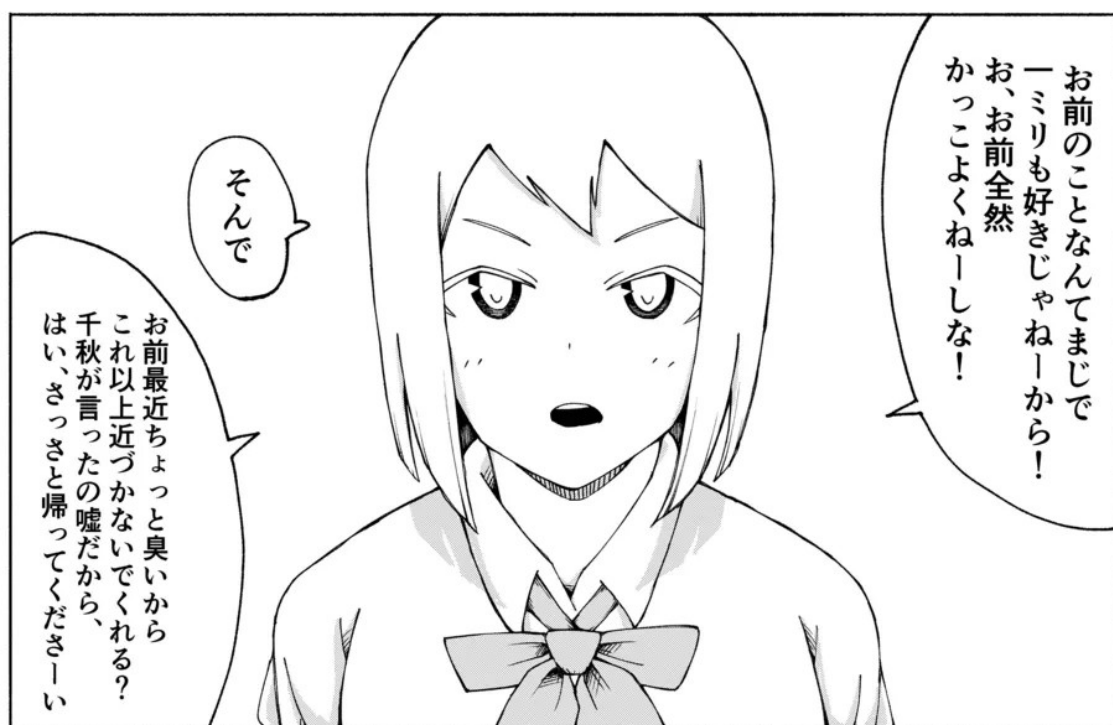
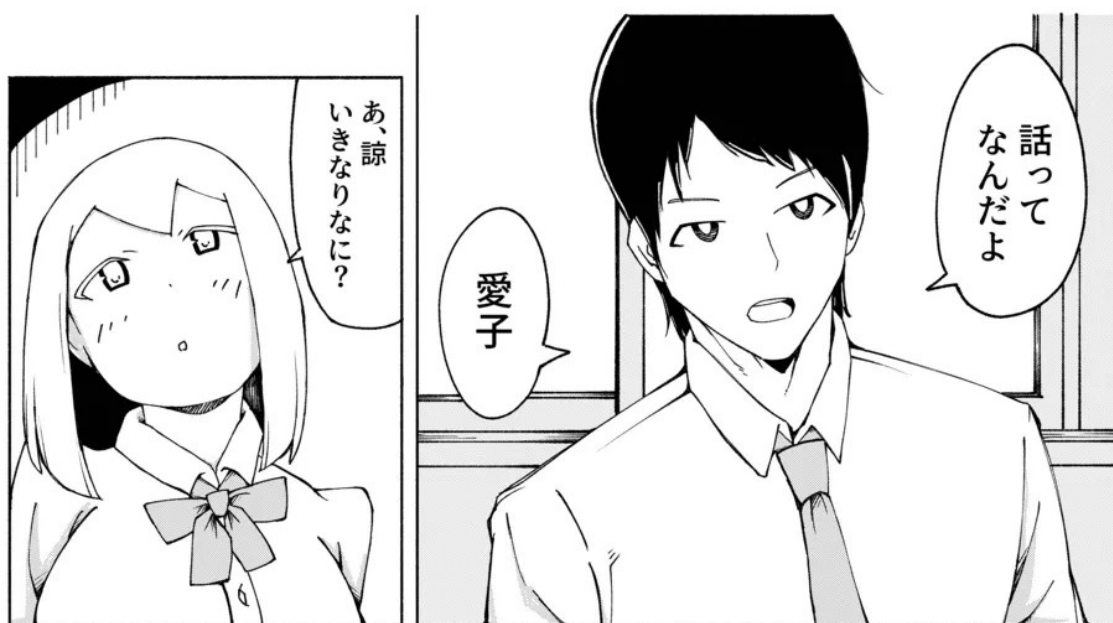
15

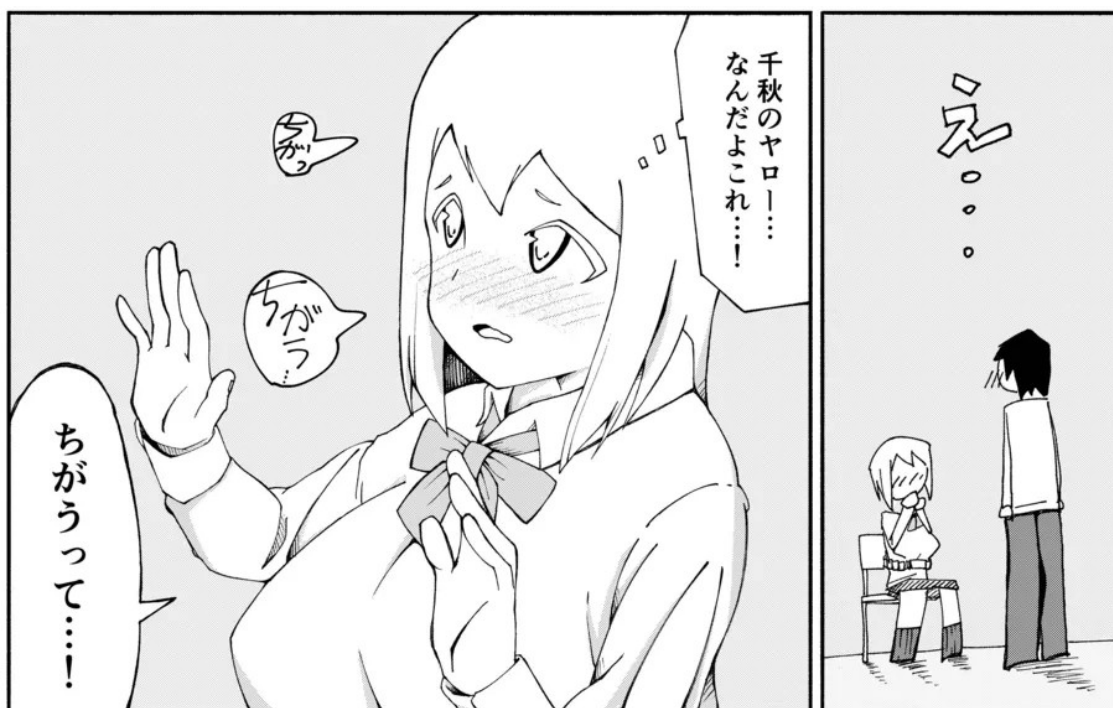
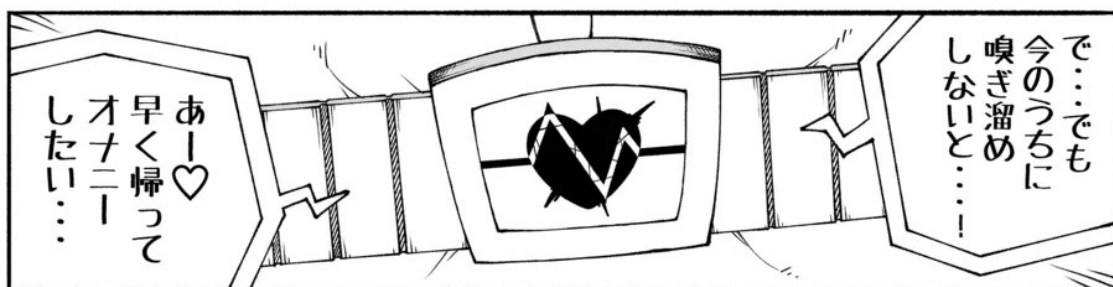
f + x のかゝる
 かゝる

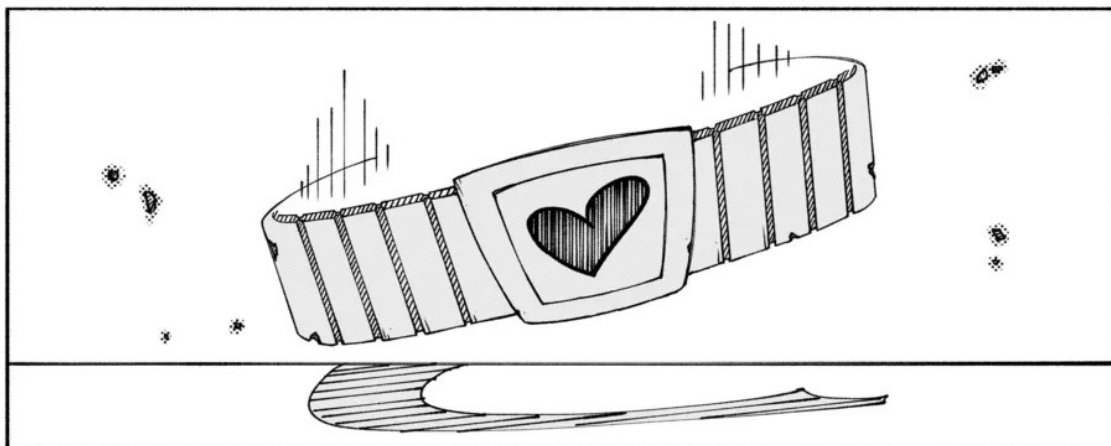
か'て



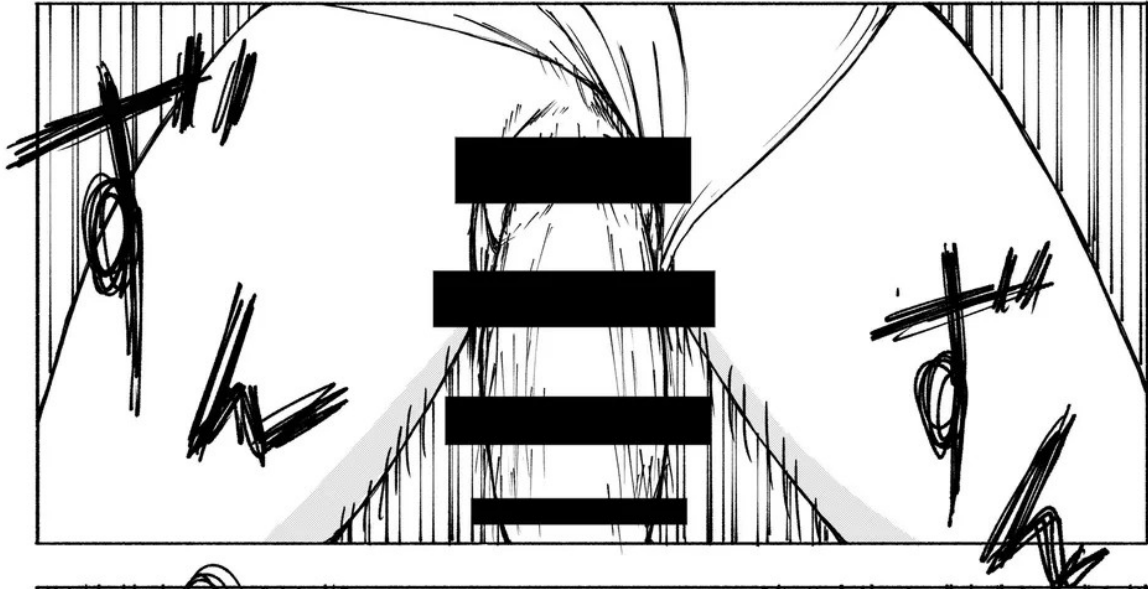


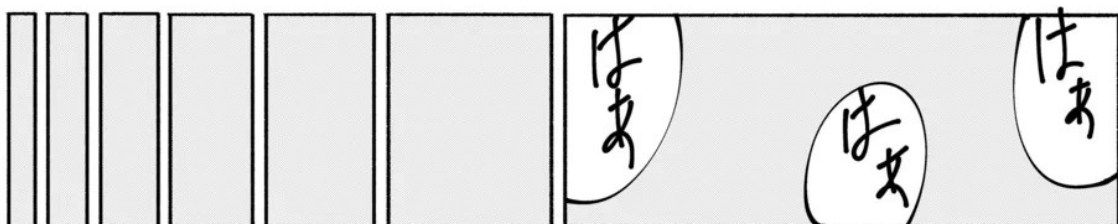


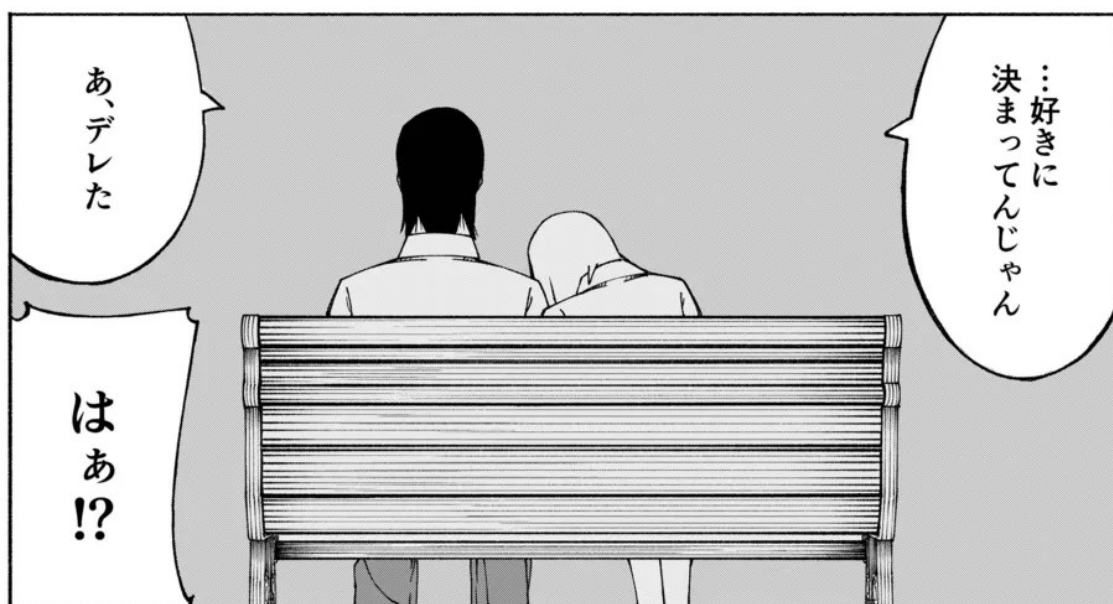
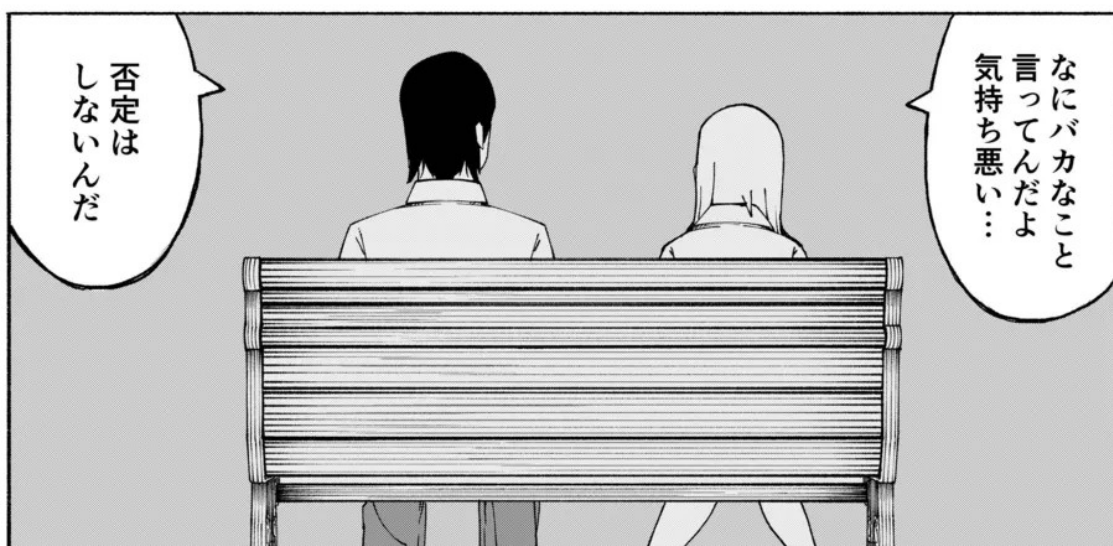






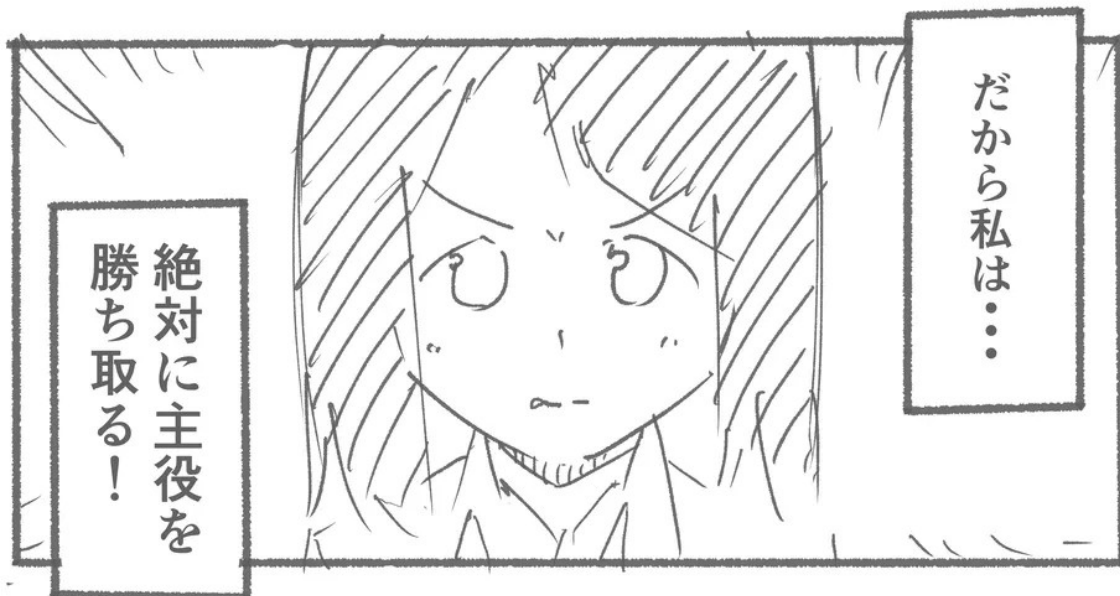






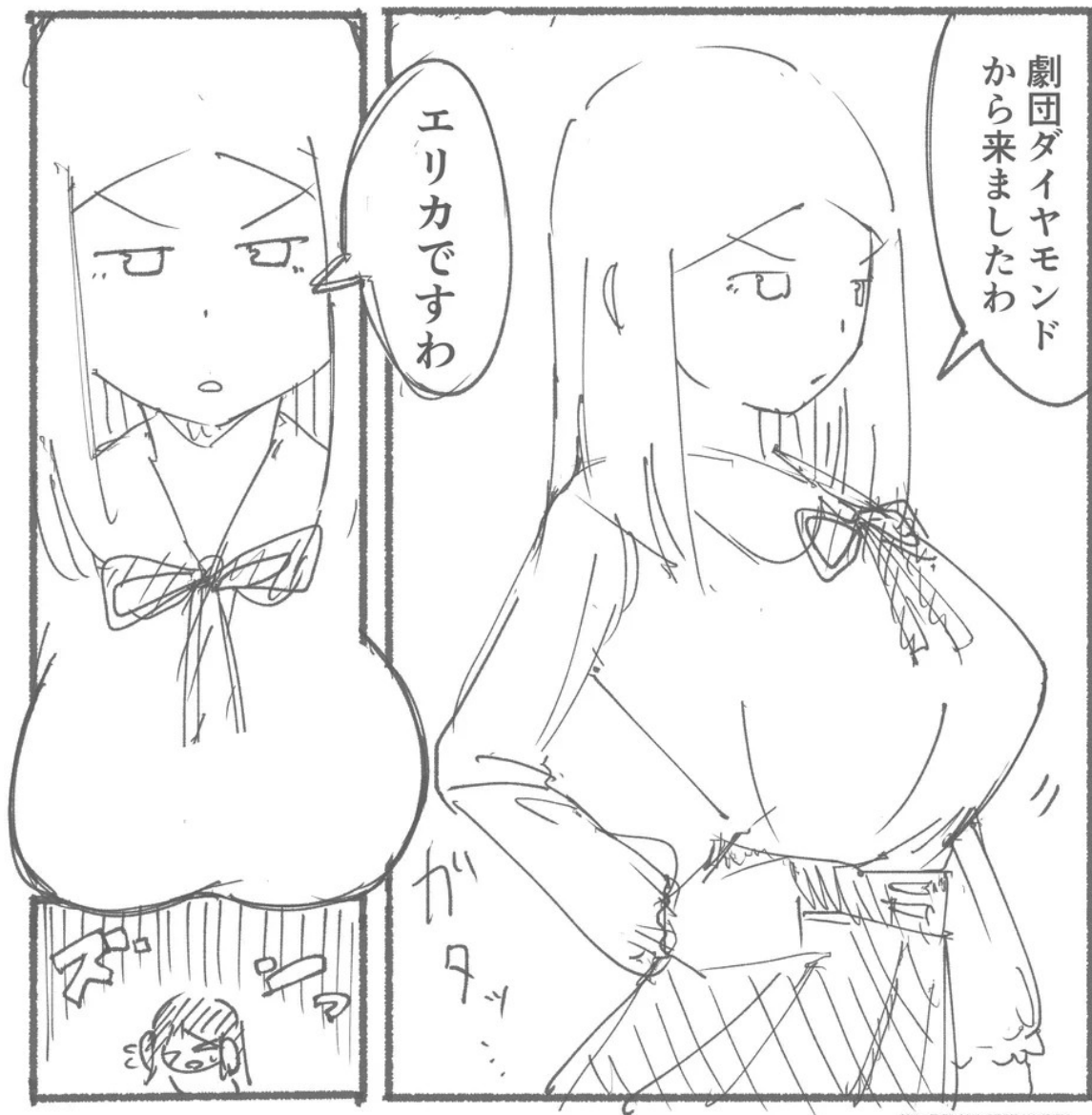
おわり





仁義なきオーディション。





劇団ダイヤモンド
から来ましたわ

エリカですわ

ズッ
ッ
ミ

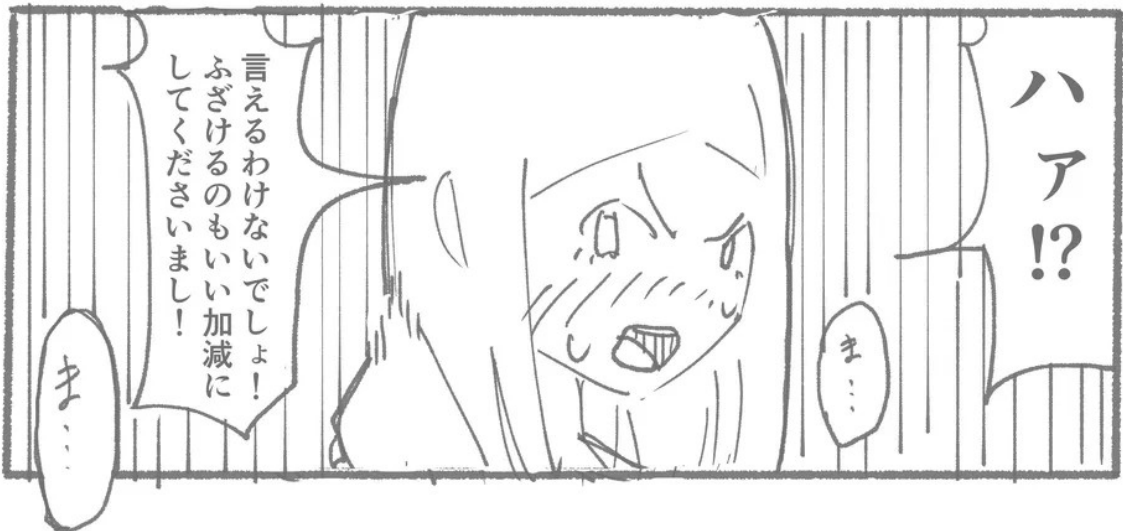
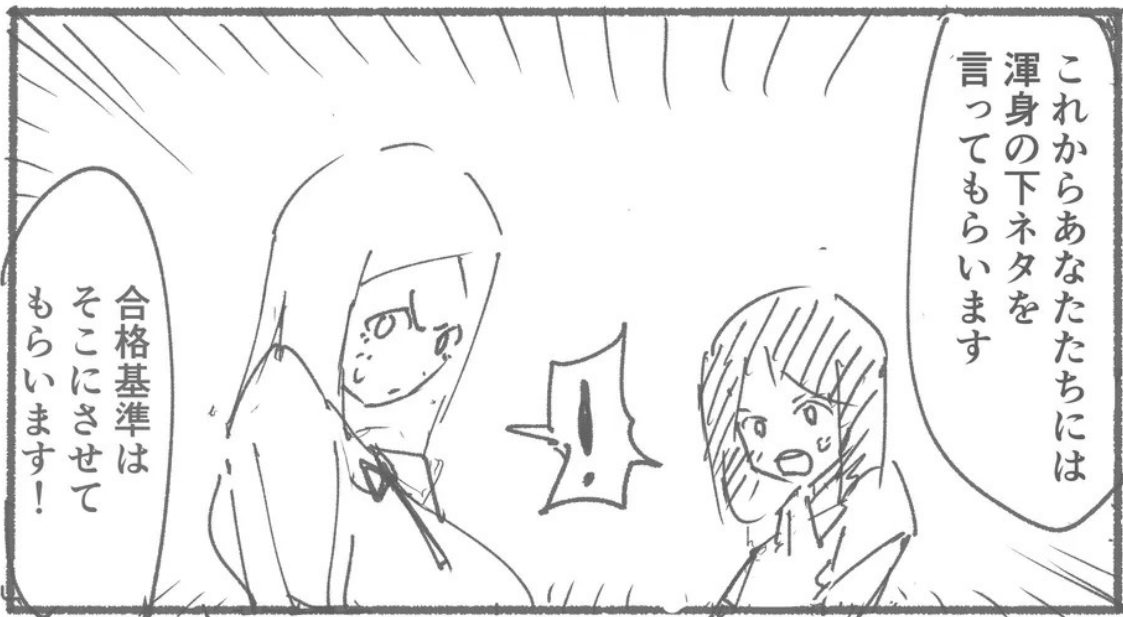
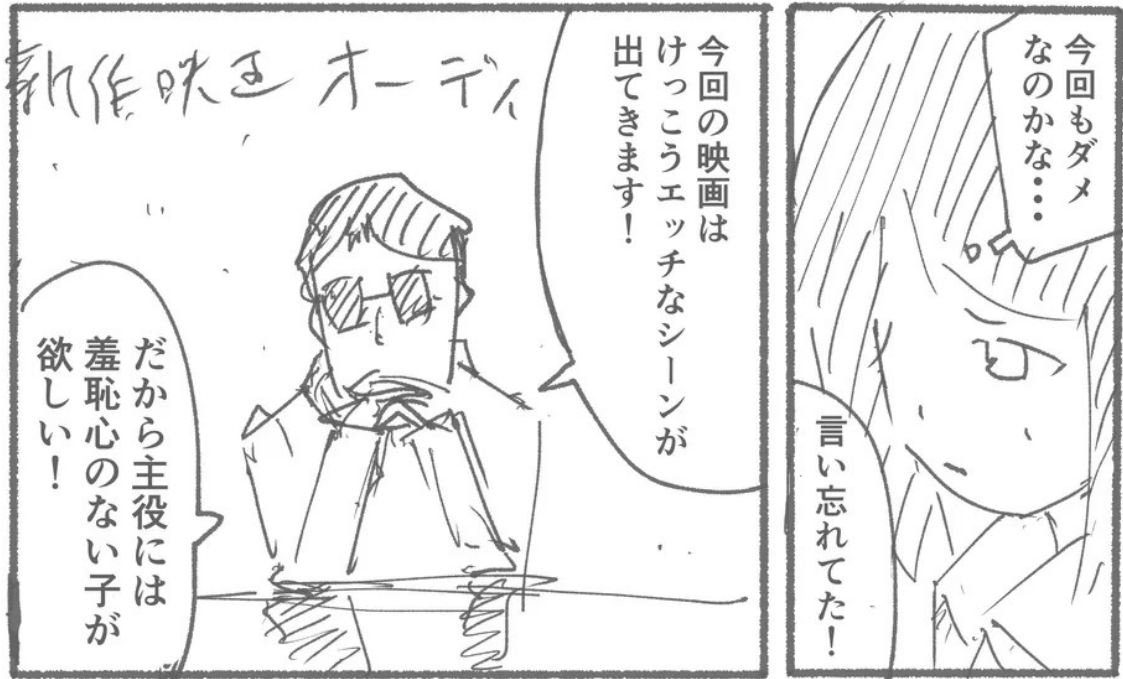
ガ
タッ

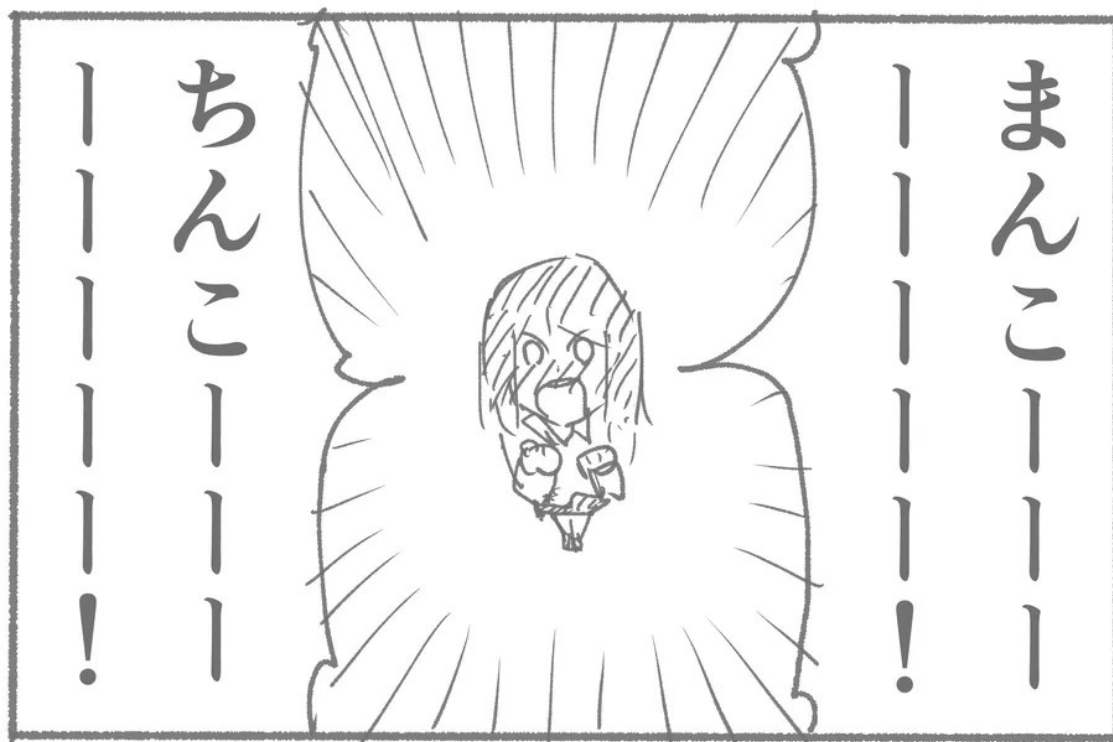


彼女は
私に持てない物を
全て持っている

お嬢様でしかも
演技センスも抜群
これまで主役も多数

正直勝ち目
なんて
ほぼない...





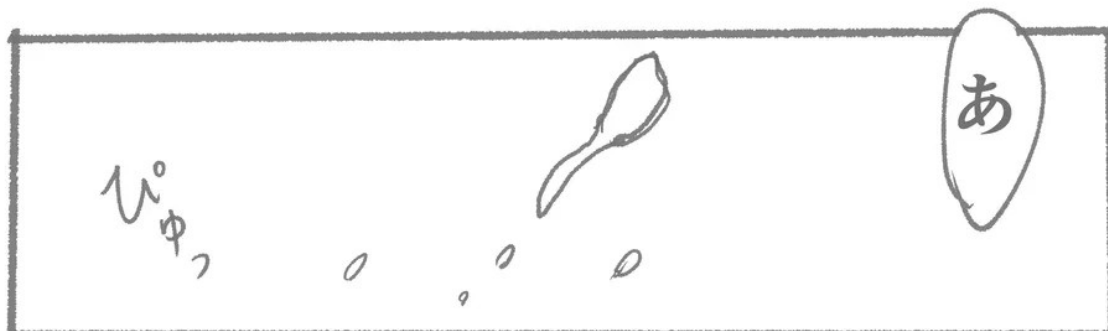
わたくし
だって！

こちらら毎日アナルビーズ
ケツに突っ込んで！！！！
チンポ2本は入るくらいの
ガバガバアナルなんですけどおーっ！！ぶっこみたくないか審査員！！！！







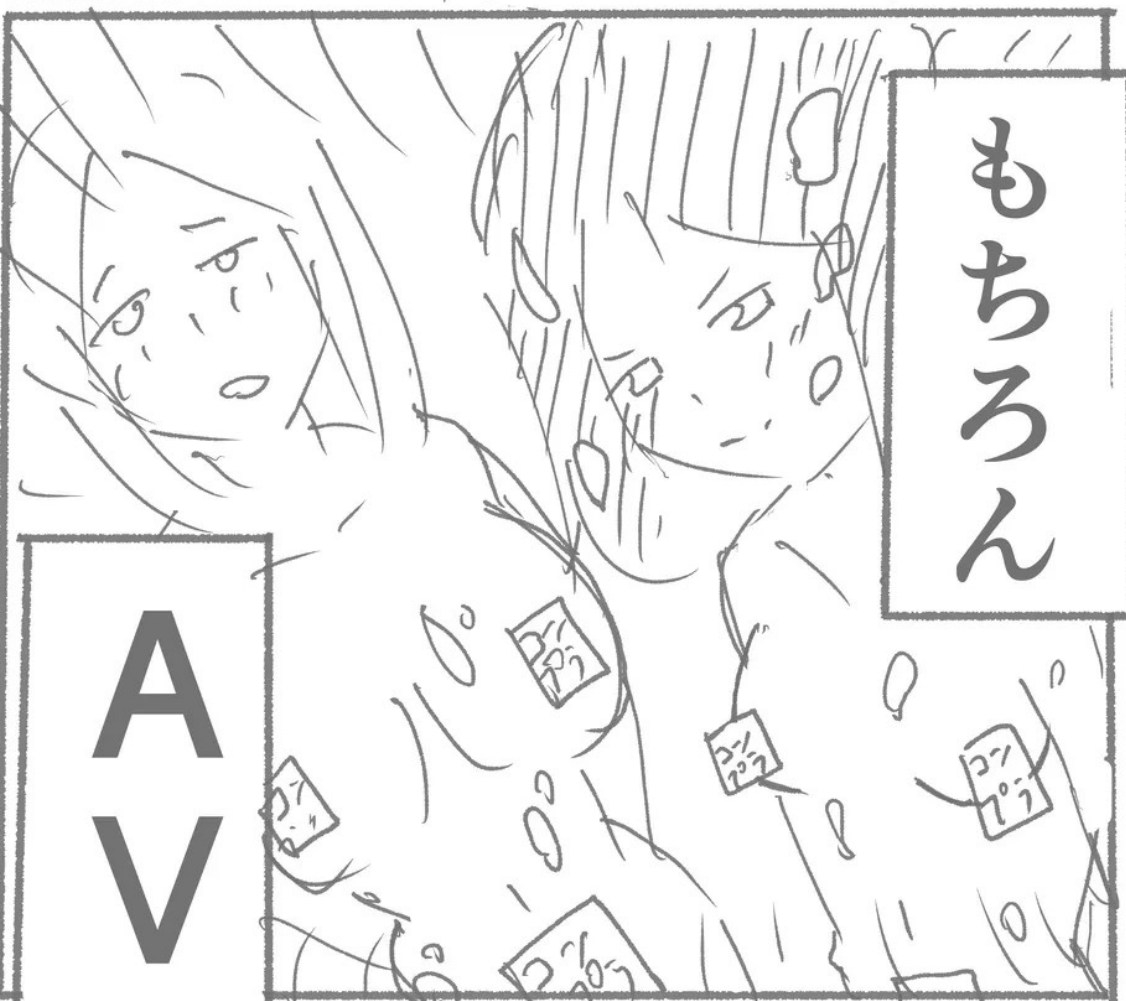


あ



…
というわけで

きみたち二人に
ぴったりの作品
がある それは…



もちろん

A
V

夢、きつとかなう。

おわり